

令和4年度 第2学年 社会科 年間指導計画・評価計画(年間105時間)

目標	社会的事象に関心を持ち、資料を適切に理解し、表現する技能を養うとともに、公民的資質の基礎を培う。
----	--

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	【領域】 単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	1 3	【地理的分野】 日本の地域的特色	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追及したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。	①日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 ①少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。 ①日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ①「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。 ①日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 ②「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ②日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。
5	5	【歴史的分野】 結びつく世界との出会い	14～16世紀のヨーロッパでは、ルネサンスや宗教改革、アジアへの新航路の開拓などの動きがおこり、ヨーロッパ諸国が貿易や布教などを目的に世界各地へ進出していったことを理解する。 ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。	①ヨーロッパ人來航の背景とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、それが日本の社会に及ぼした影響について理解している。 ②交易の広がりとその影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、豊かな交易が行われていたアジアにヨーロッパ諸国が進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、それを背景として日本とヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。
6	6	【地理的分野】 九州地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、九州地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。	①地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境とのかわりについて理解している。 ②自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察している。 ③九州地方の自然環境と生活、産業との関係について関心をもち、九州地方の特色を主体的に追及しようとしている。
6	6	【地理的分野】 中国・四国地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中国・四国地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる	①地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。 ②他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。 ③中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心をもち、それを主体的に追及している。

◆ 7	6	【地理的分野】 近畿地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、近畿地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察している。 ③自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心を持ち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究している。
7	5	【歴史的分野】 天下統一への歩み	織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業や、朝鮮への出兵などの対外関係についてとらえ、近世社会の基礎がつけられていったことを理解する。 海外から南蛮文化などが取り入れられる一方で、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪壮・華麗な文化が生まれていったことに気づく。	①織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ②統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世社会から近世社会への変化の様子や、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつけられていったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
9	6	【歴史的分野】 幕藩体制の確立と鎖国	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府の政治の特色について考える。 江戸幕府により、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。	①江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ②統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
9	6	【地理的分野】 中部地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中部地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①さまざまな資料を活用して、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。 ②中部地方の三つの地域において、さかんな産業の違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察している。 ③産業の視点からみた中部地方の特色に関心を持ち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究している。
◆ 10	8	【地理的分野】 関東地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、関東地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。 ②関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに注目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追究しようとしている。
10	6	【地理的分野】 東北地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、東北地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。 ②東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。 ③東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究している。
11 ◆ 12	6	【地理的分野】 北海道地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、北海道地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。 ②産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して、自然環境や外国とのかかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察している。 ③自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心を持ち、北海道地方の特色を主体的に追究している。

12 1	5	【地理的分野】 地域の在り方	空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。★	①地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ①地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。 ②地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	7	【歴史的分野】 経済の成長と幕政の改革	産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについてとらえ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 貨幣経済の広まりや百姓一揆などの農村の変化、江戸幕府の政治改革について理解するとともに、新しい学問・思想の動きに気づく。	①産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりがりや、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたこと、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 ②産業の発達と文化の担い手の変化や、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それを背景として百姓一揆が起こったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業の発達、教育の普及と文化の広がりが、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	6	【歴史的分野】 近代世界の確立とアジア	欧米諸国が、市民革命や産業革命により近代社会を成立させたことを理解する。☆ 近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出したことについて考える。◇	①欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ②工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
2	7	【歴史的分野】 開国と幕府政治の終わり	社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治がしだいに行き詰まりをみせたことを理解する。 幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。	①知識・技能 開国とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、開国によって人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 幕府が対外政策を転換して開国したことなどに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、開国が政治や人々の生活に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや、開国の影響と江戸幕府の滅亡について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
3	7	【歴史的分野】 明治維新と立憲国家への歩み	○新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の動きについてとらえ、明治維新により近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ○自由民権運動や大日本帝国憲法の制定についてとらえ、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。☆	①富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。 ②明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリバラ教育 ☆人権教育

## 評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の国土と歴史、国際関係等に関して理解している。</li> <li>・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多角的・多面的に考察できる。</li> <li>・社会的に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、より良い社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようと取り組んでいる。</li> <li>・自国や他国の文化を尊重することができる。</li> </ul>
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物 (ワークシート・ノート・レポート)</li> <li>・発言内容</li> <li>・小テスト・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物 (ワークシート・ノート・レポート)</li> <li>・発言内容</li> <li>・小テスト・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物 (ワークシート・ノート・レポート・問題集)</li> <li>・発言内容</li> <li>・授業態度</li> </ul>

## 学習のアドバイス

### (1)授業態度

①先生や他の生徒の発言なども集中して聞くとともに、しっかりメモを取り、授業中の内容をしっかりノートにまとめましょう。

②発言や話し合いを積極的に行い、自分の意見や考え方を人に伝えられるようにしましょう。

### (2)家庭学習

①授業や單元ごとにワークなどを活用し、計画的な復習を心がけましょう。

②わからない問題や間違えた問題は解答や教科書や資料集で調べるとともに、わからなければ早めに先生に質問しましょう。

③ワークなどは複数回解くことを心掛け、知識の定着に努めましょう。

④問題集を解く力に余裕のある人は入試の過去問など難しい問題に挑戦し、力をつけていきましょう。

### (3)單元ごとのふりかえり

①年表やグラフ、図などに単元の内容をまとめると理解が深まります。

②ワークの単元のまとめも参考にするとよいでしょう。